

第3回安城市スポーツ振興計画策定委員会議事録

日 時	平成26年3月19日（水）午後1時30分～午後3時30分
場 所	安城市体育館3階第4会議室
出席委員	平岩文雄会長、荒川清明副会長、松本美登志委員、笠原喜美江委員、山本新平委員、藤浦快也委員、石川恭委員、岩月俊二委員、吉田祥子委員、高畑尚弘委員、中野幹尾委員、稲垣寿隆委員、加藤勝美委員、加藤宣子委員、
欠席委員	澤信一委員、森下秀一委員
事務局出席者	教育長、生涯学習部長、スポーツ課長、スポーツ振興係長、施設管理係長、籠瀬、河村
委託業者出席者	寺崎、長坂
次 第	1 市民憲章唱和 2 教育長あいさつ 3 会長あいさつ 4 議題 （1）スポーツに関する基礎調査報告書について （2）現行スポーツ振興計画の達成状況について （3）新計画の構成案について

1 市民憲章唱和

2 教育長あいさつ

皆さま、こんにちは。年度末のご多用の中、お集まりいただきありがとうございます。今日は市内の幼稚園の卒園式、明日が小学校の卒業式ということで、どうにか雨が降らないでほしいと思っています。

本日は基礎調査の報告の件と現行の振興計画の目標達成状況等が中心になるかと思えます。現在、スポーツ振興計画で成人の週1回以上のスポーツ実施率を50%にすることを目標としていますが、昨年実施したアンケート調査では43.1%と、過去のアンケートと比較して同程度という結果で、思うようには50%に近づけていない現状となっています。現行計画の達成状況、アンケート調査の結果等を踏まえ、来年度からの新たなスポーツ振興計画の策定に向けていきたいと考えておりますので、率直なご意見をお寄せいただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

3 会長あいさつ

皆さん、こんにちは。平成25年度第3回のスポーツ振興計画策定委員会に出席いただきありがとうございます。

徐々に暖かくなりスポーツのしやすい季節になってまいりました。私が所属する安城市

体育協会でも4月5日に「桜を見ながら歩こう（第5回）」ということで、総合運動公園の多目的広場をスタートに7kmのファミリーコース、9kmの健脚コースの2コースを、桜が満開になることを期待して計画いたしました。皆さんも時間があればぜひ参加していただきたいと思います。このようなイベントを通して、我々、安城市体育協会も市が目標に掲げる「成人の週1回以上のスポーツ実施率50%」が達成できるよう、皆さんに少しでも働きかけをできればと考えております。

本日は平成25年度最後の策定委員会になりますが、策定委員会は途中の段階であり、それぞれの立場で忌憚のない意見を聞かせていただき、いい案を作りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

4 議 題

(1) スポーツに関する基礎調査報告書について

事務局より、資料1と「スポーツに関する基礎調査報告書（概要版）」の説明

(吉田委員)

週1回以上のスポーツ実施率を上げようとするれば、今スポーツをしていない人にいかにもしてもらかだと思ふ。私はランニングをしているが、スポーツをしたくても場所が分からないとか、どういうチームがあるか分からないという人が多いと思ふ。例えば、バスケットボールなど定期的に練習をしているチームの情報を体育協会のホームページ等で検索できれば、広く門をたたいてくる人がいると思ふが、そのあたりの状況はどうなっているか。

ランニングに関しては体育館に一覧表を置いていただいているが、例えば、野球やテニスなど安城市内で活躍されているサークル的なものの一覧表等があれば、自分の都合に合わせることができ、底辺を広げることができるのではないかと思ふ。

(事務局)

現在、学校開放で活動されているチームについては、市ホームページにおいて、チーム名や代表者名等を掲載しています。個人情報の関係もあり、詳細はスポーツ課に電話で問い合わせさせていただく形としています。今後は、もう少し気軽に皆さんに知っていただける情報提供が必要だと思ふ。

(平岩会長)

安城市内の学校開放を行っている学校には各種利用団体があるが、PR不足で知らない人が多い。積極的に調べればあるが、パッと目に入るような普及広報も考える必要があるかと思ふ。

(藤浦委員)

「するスポーツ」ということで、例えば、月1回「スポーツデー」や「ジョギングデ

ー」等をつくり、全市民に対して町内会を通して推奨するアナウンス等をしたらどうか。年齢別の「実施している種目・今後実施したい種目」の第1位はウォーキングやジョギングで、手軽にできる種目をしたい人が多いので、そういう案内を出すことで意識が変わり、スポーツに親しむ人が増えるのではないか。

(荒川副会長)

私の町内では自主的にウォーキングをする人が多い。各町内で例えば週1回、火曜日の何時からウォーキングをしましょうと案内するのはいい案だと思う。高齢者のために広報やインターネットではなく、回覧で案内をしたほうがいい。夏のラジオ体操も含めて、そういう方法を行っていけば、「するスポーツ」の参加率がもっと上がり、健康維持のために非常にいいことだと思う。

(加藤宣子委員)

健康体操をしているが、スポーツ前の準備体操の時間が持てないという方が見られる。「準備体操をしましょう」という呼びかけからスポーツのきっかけになればよいと思う。例えば、12時にラジオ体操等の音楽を流す方法もある。市制40周年で南こうせつさんが作られた「星空のラブソング」に合わせて小さい子から高齢者までできる「きらめき体操」をしているが、そういった市民に知られているものをきっかけに、いろいろな団体に協働して、長く一緒にやっていける行事等があればいいと思う。

(平岩会長)

個人的には大賛成である。安城市には79町内会あり、健康体操をやっている町内会は26ほどある。私たちの町内会では月1回の健康体操に来られるのは約2,500人のうち30人弱なので、もっと参加してほしいと考えている。

(加藤勝美委員)

私の箕輪町では「貯筋体操」という名前で行っている。最初は健康推進課から来られて脈拍や血圧測定から始めた。いつも30~40人の参加者があり、皆さんが楽しんでやっている。

(加藤宣子委員)

今は町内会や敬老会が主に携わっていることが多いと思うが、子どもから社会人まで参加できる土曜日、日曜日に行っていくことも必要だと思う。

(加藤勝美委員)

私は、毎日1万歩を目指して犬と一緒にウォーキングをしている。犬は時間が来れば必ず鳴くので散歩に連れて出るが、自分だけでは寒い日、雨の日も続けるのは難しい。やはり、スポーツをするにはきっかけがほしい。

(石川委員)

「忙しいから運動をしない」というのは実はそうではなく、都市部の忙しい人ほどジムに通ったり、自転車で通勤したりしている。ひまな人はいつでもできると思ってやらないということがあり、どちらかというとな安市もその傾向にあるのではないか。

30代の実施率が低いのは子育て世代ということがあると思うので、親子で参加できるスポーツイベントを開催することで参加率が上がるのではないか。お母さんがママ友を通じてスポーツイベントに参加する機会が増えれば、30代の実施率が上がると思う。さらに、小・中学校や高校でスポーツ行事のチラシ配付や広報活動を行うと、効果が高いのではないか。

(松本委員)

チラシを配るだけならできるが、印刷をするのは教員の負担になり難しい。東山中学校区では総合型スポーツクラブで三世代カローリング大会や三世代ゲートボール大会があり、PRは地域のコミュニティがしている。総合型スポーツクラブが安城市に幾つかできて、そこからPRしていけばもっと広まると思う。

(高畑委員)

高校も県などから行事案内がよく来る。生徒の4割程度が安城市在住ではないので、チラシではなくポスターを作成いただければ、掲示板に貼るのは十分できるかと思う。

(岩月委員)

文部科学省のアンケート調査でのスポーツ実施率は高いと思ったが、同じ条件でアンケートを取られたのか。

(事務局)

今回、市で実施したアンケート調査と文部科学省のアンケート調査では、若干質問の仕方が違っています。

(岩月委員)

スポーツ人口を増やすということだと思うが、前回会議で、ボランティアを増やすにはどうしたらいいかということをお話した。同じ発想で、安城市は環境首都をうたっており、JOC等もスポーツと環境をうたっている。どうしたらスポーツと環境が結び付くかと考えたときに、日本の10大汚染湖のワースト1位になったことがある千葉県我孫子市の手賀沼は水泳大会ができるほどになり、石川県小松市の木場潟はカヌーのオリンピック強化競技場にもなっている。安城市には油ヶ淵があり、スポーツと環境のイベント等でスポーツの参加率を上げつつ、環境にも関心を持ってもらうという方向性をスポーツ振興計画の中で打ち出せないか。例えば、上にワイヤーを張ってフィールドア

ストレッチのようにするなど、普段は見られないような油ヶ淵を見ていただく機会をつくり、スポーツや環境に関心を持っていただくのも1つの手ではないかと思う。

(平岩会長)

毎日歩いている人でも、今回のアンケート調査では、スポーツ・運動を行っているとは回答していない人がいるのではないかと思う。

(事務局)

アンケート調査では、「スポーツ・運動」という表現をしたが、普段からウォーキングをされている方でも、「スポーツ・運動」として認識せず、アンケート調査を回答している人もおられると思います。

(藤浦委員)

報告書概要版の8ページ「市のスポーツ施策について」に、「もっと情報提供を行ってほしい」の割合が46.3%とある。体育団体の催し物等を告知するときに、商工会の店舗等にも告知できたらいいという思いもある。1つの窓口で依頼すれば自動的に公共施設や商工会議所等の掲示板に貼られたり、冊子に載るといった仕組みを作っていたら、目に触れる機会が多くなってありがたい。そうすれば「する」「みる」「おしえる」「ささえる」のすべての項目に好影響が出るのではないかと思う。

(事務局)

体育館であればスポーツ関係のポスター掲示やチラシを置くことはできるが、他の施設では難しい部分があり、今後、できる限り、そのような形が取れるよう検討していきたいと思います。

(松本委員)

ケーブルテレビのキャッチを見ると交通情報や天気予報があるが、市のホームページでも、スポーツイベント等の項目を作り、様々な催しのホームページとリンクさせ、誰もが見やすい仕組みができればよいと思う。

(事務局)

現在のホームページでは、市のスポーツ行事を紹介するのみである。民間団体の主催のスポーツ大会等も紹介するような形については、市のホームページのルール範囲内で可能な限り行っていきたいと思っています。

(荒川副会長)

例えば、体育館などの人が集まる市の施設などに、いろいろな行事がスクリーンなど

で表示されるようになるとういと思う。

(事務局)

特に目立つものがないということから、報告書概要版の8ページにあるように「もっと情報提供を行ってほしい」という要求が高いのかと考えられますので、ぜひ、善処していきたいと思います。

(荒川副会長)

情報を見る手段はいろいろあっても、パソコンが使えない人や回覧が来ても見過ごす人もいてなかなか難しい問題であるが、費用がかからずに効果があるPRの方法を検討していただきたい。

(中野委員)

私の町内会では、自主クラブだけで15から16ほどあり、1、2カ月前に申し込まないとホールが予約できない状況がある。市内には79の町内会の公民館があり、利用状況にも地域差があるので、空いている所が簡単に分かれば、その公民館に出向いて行く方法もある。

(2) 現行スポーツ振興計画の達成状況について

事務局より、資料1～24ページの説明

(山本委員)

資料14ページの「(3) 学校運動部活動への外部指導者の活用」について、平成24年度の27人とはどういった学校に対しての派遣の数値なのか。

(事務局)

小、中学校における派遣の数値であり、高校における数値は含まれておりません。

(山本委員)

高校も外部指導者に指導していただいているところもあるが、指導者の情報があまりないので、誰にお願いしたらいいか非常に迷っている先生がいると思う。実際に顧問の先生が全く来られず、生徒だけでしている部活動もたくさんある。教えてもらえないので退部するケースもあり、運動をしない子が増えてしまうのも問題かと思う。事故が起きたときの保証の問題等もあり、外部登録の指導者の活用は非常に難しいと思うが、充実できれば、学校での運動頻度は少し上がるのではないかと思う。

(事務局)

資料12ページにあるように「スポーツ指導者養成講習会」を実施しており、平成2

4年度末の資格累計取得者が79名になっています。現在、体育協会と連携して資格取得者名簿をホームページ等に載せるなど、外部にPRしていこうと考えています。さらに、外部指導者を学校で活用していただけるような仕組みを検討して、新しい計画にも盛り込んでいきたいと考えています。

(平岩会長)

スポーツ指導者の資格取得者79名については4月から公表予定である。高校の場合、県大会等になればレベルが高くなるが、基礎的な部分の指導は十分に対応できると思う。

(荒川副会長)

中学校のバレー部や野球部には監督はいるのか。

(事務局)

中学校は基本的に子どもたちだけではさせないので必ずいます。外部指導者も入っていますが、勝利至上主義になるケースもあるので、教育としてスポーツをさせる場合は、状況を判断して外部指導者を入れてほしいと考えている。

(岩月委員)

公立高校でも外部指導者を採用する場合は、県の予算で対応できるのか。

(高畑委員)

県に申請して週何時間までということ認められれば予算が使え、外部指導者をお願いする形が取れる。高校の教員が何人かいるが、いろいろな種目に精通しているわけではないので、その教員が異動してしまうと指導という意味では素人になってしまう場合があり、外部指導者をお願いできる時がある。

(稲垣委員)

子ども会では、スポーツ関連として、1年中ソフトボールなどを重点的に実施している。町内会では、運動会やラジオ体操に、積極的に子どもさんを参加させてもらうように進めている。町内会、子ども会、小学校で協力し、小学生から運動ができる子、ボランティアができる子を育てていければ、全市的にスポーツが広がっていくと思う。

(笠原委員)

資料1の99ページで中高生への「自分の健康に自信を持っていますか」という質問に、「どちらでもない」、「自信がない」という回答が結構あり、こういう状況でいいのかと心が痛む。

(松本委員)

部活動には、運動系と文化系があり、本校では中学1年では全員参加、中学2年からは任意という形となる。中学1年では圧倒的に運動部が多いが、半数以上は選手になれないので、そういう意味でもこうした結果に現れているのかと思う。中学校の部活は勝利至上主義ではないが、教員によっては勝利至上主義に走ってしまい、選手になれないような子に声かけが不足しているという部分があるかもしれない。

(笠原委員)

スポーツの好きか嫌いにかにも関連してくるので、この辺りをどういうふうに入力していけるのか、心配である。

(松本委員)

現在、スマートフォンや携帯電話の利用に時間を取られる子どもが多い。昔は広場があって自由に遊べたが、今は広場や道路で遊べない、運動場はクラブチームが独占しているという状況があり、社会全体の大きな問題として捉えていくべきではないかと思う。

(笠原委員)

安城市全体で考えれば大変だが、地域で各種団体が一生懸命スポーツに取り組むということで、モデル地区等をつくったらどうなのか。そうすれば親子で参加し、老人も参加し、全体的にスポーツを取り入れる方向にいくのではないか。

(平岩会長)

次の計画にも考慮していただきたい。私は、指導者として強い弱いに関係なく褒めるように心がけている。指導者も考えて教えれば自信を持ってもらえ、スポーツを長続きしていただけたらと思う。

(稲垣委員)

子ども会のスポーツや行事等でボランティアに手伝ってもらうが、だんだんボランティアが少なくなる傾向にあるので、ボランティアの育成も推進してほしい。

(荒川副会長)

町内会も若い世代がいないので、教え子たちに将来、地域のスポーツ推進員等をやってほしいと思い、忙しい中でも週1回とか月2回くらい、ソフトボールに参加してもらい、地域はこういうものだということを教えながらやっている。

(3) 新計画の構成案について

事務局より、資料25ページの説明

(加藤勝美委員)

「スポーツ施設・設備の充実」について、例えば、資料1の14ページ、「スポーツ・運動をする場所」の「自宅の近所の道路や空き地など」のパーセンテージが高くなっている。市内にある運動施設の割合について把握していれば教えてほしい。

(事務局)

割合は把握していませんが、スポーツ課としてはスポーツ施設の充実を今後も進めていきます。「道路」と回答された方は、ウォーキングや散歩をされているという意味合いが含まれていると思います。

(石川委員)

新計画構成案の第3章の「5 スポーツ施設・設備の充実」が今日の一番大切なことではないかと思う。報告書概要版8ページの「市のスポーツ施策について」を見ると、市のスポーツ施策は結構うまくいっていると思っているが、その下の「施設利用について」は「やや不満」「大いに不満」の割合が高い。これは場所や時間、施設というハード面でクリアできないものか。例えば野球場を貸すにも、なるべく多くの人を楽しめるように2時間単位で区切る等でクリアできるのか、その辺を検討することが大切ではないか。

新しく体育館やプールやウォーキングロードを造ることは費用面で無理だと思うので、今の施設をうまく使い、時間制の利用をすることで予約が取りやすくなってスポーツ実施率が上がっていくことが、一番大切なところではないか。

(松本委員)

作野小学校周辺は公園が多く遊歩道が整備され、東山小学校や桜井地区では車道と歩道が分離されていていいなと感じる。小学校区ごとに子どもが何人いて、どれくらいの面積の公園があるかなどを市でリストアップして、率が低い所には整備する等の施策が必要かと思う。安城市のグリーンロード(緑道)は素晴らしいと思っているが、桜井地区の史跡や神社、古墳を結ぶ遊歩道等がさらに必要だと感じている。

(松本委員)

高齢化率のように子ども1人当たりの広場の保有率等があれば、それを基にして整備をしていくとよいと思う。

(事務局)

安城市は平坦で山1つないので、1人当たりの公園保有率は非常に少なくなっています。農地は広く、都市近郊の場所としては農地保有率は高くなっています。

(岩月委員)

現行と新計画構成案を比べたときに、特に基本計画において現行のほうが分かりやすいと感じる。新計画構成案では「する」「みる」「おしえる」「ささえる」ということで、言わんとしていることは分かるが、「おしえる」は「ささえる」ことも考えられ、「ささえる」のサブカテゴリーとして「おしえる」が入ってもいいのではないか。また、「スポーツ団体の育成」も「ささえるスポーツ」の中に入ってもよく、フアジーな部分があって、むしろ現行のほうがより具体的な規律になっていると感じる。

基本計画の中に、先ほど言われたような各町内の施設や子どもの数、年齢構成比等、スポーツに関連した基礎データを積み上げることが必要ではないか。

(加藤宣子委員)

何かイベントがあるときに、ボランティア団体に呼びかけていただければと思う。

(平岩会長)

「歩け歩け運動」の責任者だが、次回はぜひ声をかけさせていただきたい。

(加藤宣子委員)

それがボランティア団体にもいいきっかけになり、いろいろな所でいろいろな団体が接する機会をつくっていただければありがたい。

(事務局)

現計画の大項目1に「マイスポーツ運動の推進」があります。マイスポーツ運動には、「する」、「みる」、「おしえる」、「ささえる」の4つの面でのスポーツ振興が含まれます。しかしながら、大項目3の「指導者の養成と研修」は、「おしえる」面でのスポーツ振興の内容となります。今の計画の体系においても、整理しにくい部分があると感じております。今後、計画案を作っていく中では、試行錯誤しながら、計画の素案を作成していくものと思っています。

(議題(1)、(2)、(3)ともに承認)

(生涯学習部長)

本日は年度末のお忙しい中、ご出席いただきありがとうございました。また、慎重にご意見を頂戴しありがとうございます。本年度については、これで締めという形になりますが、いよいよ来年度、本格的に策定作業を始めますので、今まで以上に忌憚のないご意見を頂きたいと考えております。安城市らしいよい計画にしていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしく申し上げます。

以上